

学校図書館支援センター通信 NO.125 9月号

平成30年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



夏の研修会の様子をお伝えします！ 第2回 学校図書館研修会・ネットワーク会議



8月7日（火）に「第2回学校図書館研修会・ネットワーク会議」が行われました。参加された先生方は、市内小・中・義・特別支援学校の司書教諭と学校司書、幼稚園のネットワーク担当の先生方です。

午前の研修会では、中学校ブロックごとの情報交換と校種別課題検討を行い、午後は、帝京大学 教授 鎌田 和宏先生を講師にお招きして研修会を行いました。

《午前の研修会について》

前半は、中学校ブロックごとに分かれて、幼稚園、小学校、中学校の取組みについて、発表を行いました。幼稚園の取組みについて、共有することができ、幼・小連携を考えるきっかけとなりました。

また、小・中の連携を図りながら、読書推進を行っている中学校ブロックがあり、小学校と中学校をつなげた読書教育のが行われていました。

後半は、校種別課題検討会を行いました。普段の実践を振り返りながら、課題について話し合い、解決策を考えていきました。



校種別課題検討会にて、各グループで話し合われたテーマ

《中学校》

- ・図書館を積極的に活用してもらうには、どのようにしたら良いか
- ・中学生に多様な本を読ませるためには
- ・いかに学校図書館に生徒を呼び込み、中学生ふさわしい本を読ませるか
- ・単元での学校図書館活用を充実させるためにどうしたらよいか
- ・授業で学校図書館を活用するためには

《小学校》

- ・本に興味を持ってもらうには
- ・高学年の読書量と質を上げるには
- ・子どもの読書のはばを広げるためには
- ・限られた時間や予算の中でいかに本と接する機会を設けるか
- ・子どもたちが絵本から物語へ読書を広げるためには
- ・教員が日常や授業の中で学校図書館をうまく活用するには
- ・どのようにしたら「児童と本との関わり」を強くできるか
- ・子どもが積極的に本を読むようにするためには
- ・授業で学校図書館を活用してもらうためには
- ・子どもたちが実のある本を選ぶようにするためには
- ・教師と児童が授業で学校図書館を活用するためには
- ・外国籍の子を含め、読み書きが苦手な子どもへの手立てはどうしたらいいのか



先生方が考えた多くの解決策

楽しい

**読書の質を向上させる
手立ての提示**

- ・学級文庫の活用の工夫
- ・全校で味見読書やリレー読書などを行う。
- ・授業の実践例等具体的な取り組み方法を提示する。

校長先生のリーダーシップ

- ・学校図書館長として、校長先生に積極的に関わってもらう。
- ・図書館で校長先生にバーコードの読み取りを行ってもらう。
- ・学校だよりでおすすめの本などを紹介してもらう。

**より多くの先生方に積極的に
学校図書館を活用してもらうためには**

平田小学校 鶴指小学校 大和田小学校

時間がかかる

年間計画の周知・活用

- ・年間計画に昨年度の図書館利用について明記すれば、「今年度もやってみよう」や「この方法を別の単元で取り組もう」となるかもしれない。
- ・年間活用計画を拡大して職員室に掲示する。

活用の見通しが持てるように

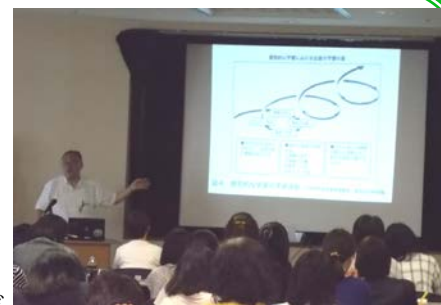
- ・図書館を活用して取り組んだ学習の成果物を提示するコーナーを図書館に設ける。
- ・学年だよりを活用する。
- ・図書を購入した時に、活用方法も合わせて先生方へ紹介する。

KJ法を使って、解決策をまとめていきました。
他のグループで考えた解決策につきましても、C4thの書庫にありますので、ご活用ください。
（書庫＞学校図書館＞研修会資料）

《帝京大学 教授 鎌田 和宏先生のお話》

『新学習指導要領と学校図書館～情報リテラシーを育てる授業づくり～』をテーマにご講演いただきました。

AIの進化とともに人間ならではの力の育成が大切であるというお話から講演がはじまり、「言語力の育成は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となるものである。」という話がありました。読むこと、書くこと、調べること、表現することを繰り返すことで、より学びが深くなっていくことを教えていただきました。言語力、情報活用能力、問題発見・解決能力は、短時間で身に付くものではなく、長い時間をかけて育成していく必要があるため、全教職員で取り組みながら、積み重ねていくことが重要であるということを確認させていただきました。



司書教諭研修会～学校図書館へ誘う教員への働きかけ～

7月25日（水）に行われた司書教諭研修会の講師として、昨年度に引き続き 全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザーの福田孝子先生をお招きいたしました。今年度のテーマは、「学校図書館へ誘う教員への働きかけ」です。学校の中心となり、学校図書館の充実のために力を発揮している司書教諭の先生方が、どのように教職員に働きかけていけばよいのかという視点でのお話を伺うことができました。研修会を通して、校長先生をはじめとする全教職員で、学校図書館運営に携わっていくことが重要であるということがわかりました。

また、道徳の授業で使える図書資料を、読み聞かせとともに紹介していただきました。お話を最後まで読んでから考える方法や、最後まで読まずに途中で読むのを止めて考える方法など、授業の進め方も教えてくださいました。その他に、外国語に興味を持たせるための環境作りとして、学校図書館に、同じ作品の外国語版の絵本と日本語版の絵本を並べて展示する方法も紹介していただきました。

図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

読書週間で何をしようか、図書委員会では毎年知恵を絞ります。『読書クイズ』の他に、今年の春の読書週間では、図書委員会の発案で、『図書館キャラクター』を募集しました。たくさんの応募があり、図書委員会で6作品を選び出しました。その中から1点を選ぶため、全校児童で投票をしました。みんな興味をもってくれているようです。

投票結果は、図書委員会で集計して全校に発表しました。選ばれたキャラクターは図書館の掲示で活躍してもらう予定です。毎年、図書委員にはやる気のある児童が来てくれます。図書館が子どもたちに親しまれる場となる、大きな力だと思います。（市川市立新浜小学校 学校司書 秋本 三幸）



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市亀高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

